



自立し、互いに関わり合いながら、よりよい社会づくりに参画し行動する「有徳の人」の育成を目指して

# Eジャーナルしずおか

令和2年(2020年)  
3月5日  
木曜日  
第221号

発行・編集 教育政策課 〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 TEL 054-221-3674 FAX 054-221-3561 E-mail kyoui\_seisaku@pref.shizuoka.lg.jp

## 静岡県教育委員会は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています ～世界を変えるための17の目標～

### 持続可能な開発目標SDGsとは

持続可能な開発目標 (SDGs) とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標 (MDGs) の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2030年までに持続可能でより良い世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない (leave no one behind)」ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル(普遍的)なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。【外務省HPより】

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

<b>1</b> 貧困をなくそう 	<b>2</b> 飢餓をゼロに 	<b>3</b> すべての人に健康と福祉を 	<b>4</b> 質の高い教育をみんなに 	<b>5</b> ジェンダー平等を実現しよう 	<b>6</b> 安全な水とトイレを世界中に 
<b>7</b> エネルギーをみんなにそしてクリーンに 	<b>8</b> 働きがいも経済成長も 	<b>9</b> 産業と技術革新の基盤をつくろう 	<b>10</b> 人や国の不平等をなくそう 	<b>11</b> 住み続けられるまちづくりを 	<b>12</b> つくる責任 つかう責任 
<b>13</b> 気候変動に具体的な対策を 	<b>14</b> 海の豊かさを守ろう 	<b>15</b> 陸の豊かさを守ろう 	<b>16</b> 平和と公正をすべての人に 	<b>17</b> パートナーシップで目標を達成しよう 	

### 持続可能な社会のために

SDGsにおける上記に掲載した17のゴールは未来の人たちのためだけでなく、今を生きる現代の人たちのための目標でもあります。壮大な目標で関係ないと思われるかもしれませんが、小さな取り組みの積み重ねがゴールにつながります。学校の職員として、個人として、世界を変えるためにできることを考え、実践してみませんか？

### 実践校を紹介！

## 駿河総合高校「キャリア探究 with SDGs 支援プログラム」



駿河総合高校では、国連教育・科学・文化機関(ユネスコ)の理念を実践する「ユネスコスクール」に加盟しており、SDGsを学ぶ取り組みに力を入れています。生徒一人一人が豊かな生き方・在り方・学び方・働き方を追究するキャリア学習と、習得した知識・技能を持続可能な社会づくりのために活用する態度を養うESD for SDGsに取り組んでいます。具体的には「キャリア探究with SDGs支援プログラム」を策定し、機関包括型(ESDへの包括的取り組み)を進めることにより、総合学科ならではの多様な科目や課外活動などの延長で、多彩なユネスコスクール活動を展開しています。

**4 質の高い教育をみんなに** **5 ジェンダー平等を実現しよう**

### 共生・共育活動

併置している静岡北特別支援学校南の丘分校の生徒たちと行事や授業、課外活動を通じた日常的な交流機会を設け、互いの人格や個性を認め合い、支え合う人権尊重意識を自然に養成する活動を行っています。

園芸部・園芸班勉強会

**4 質の高い教育をみんなに** **8 働きがいも経済成長も** **11 住み続けられるまちづくりを** **17 パートナーシップで目標を達成しよう**

### 生徒がつくる授業

有志生徒が授業を企画・実践し、1年次生は大人たちと車座になって語り合う「将来を考えるワークショップ」、2年次生は思考力・判断力・表現力を鍛える活動として「ピリオバトル」、3年次生は中学生一日体験入学で、「課題研究中間報告」を行っています。

課題研究中間報告

**8 働きがいも経済成長も** **17 パートナーシップで目標を達成しよう**

### 新聞を活用した志向性分析と地域研究

「住み続けられるまちづくりを」や「働きがいも経済成長も」を意識しながら各自、意識的に自分の地域研究テーマや目指す学問分野や業界・業種などに焦点化した関連性のある新聞記事をスクラップし、主体的な学びや納得のいく進路実現につなげています。

静岡研究発表会

その他にも、近隣の小学校で自作の「SDGs学習すころく」を使った高校生出前授業や、習得した技術を活用する地域マップづくり、学校菜園で収穫した野菜を子ども食堂や食育活動に提供するなど、SDGsの学習を通して「静岡で学ぶ、働く、暮らす」ということを探究しています。

【教育政策課】



実践NOTE 439

# 教育部における総務事務集中化3年

## RPAを活用した業務改善に挑む!

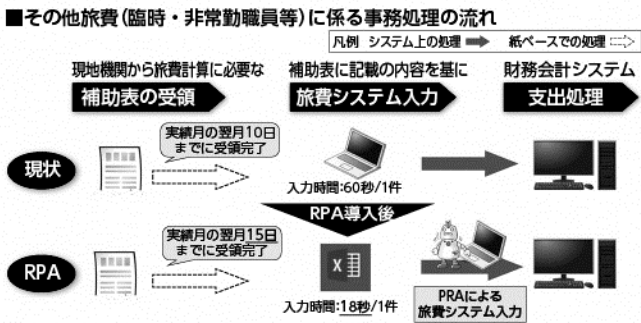
教育総務課集中化推進班 班長 青木 智規

### ルーティンワークは創造性を駆逐する

「人間は目の前に大量のルーティンワークを積み重ねると、その処理に追われ、創造的な仕事を後回しにしてしまう傾向がある」という、経営学者ハーバート・サイモンの言葉です。「働き方改革」という言葉はあるものの、「大量のルーティンワークに囲まれ、それどころじゃないよ」というのが本音かもしれません。

### 教育総務課集中化推進班とは?

平成29年の組織改編により設置された、本庁



その他旅費入力事務におけるRPAの導入

「RPA、導入してみようか?」  
そこで、ロボティックプロセスオートメーション(RPA)の導入を検討しました。RPAとは、これまで人が行っ

いた定型的なPC操作をソフトウェアにより自動化するものです。PC上で行う様々な操作を「シナリオ(プログラム)」として作成・実行することで、定型作業を自動化することができま

及び現地機関からなる教育部の給与・旅費・報酬等支払い手続きなど、総務事務を集中して実施している部署です。当班の総務事務のうち業務量が最も多いのは、現地機関の臨時・非常勤職員等に対する旅費支給事務。その旅行件数は最も多い月で約1900件に上ります。

旅費計算システムへの入力作業は当班職員が担っていますが、入力ミスによる誤支給を誘発するなど「大量のルーティンワーク」に囲まれ、非効率な状況が続いていました。旅費支給事務の課題を解消しようと、旅費計算システムを使用しない方法も検討しましたが、「適正な旅費支給が確保されない」等の理由により、断念せざるを得ませんでした。

「24時間」の効果  
導入検証と試行を経て、令和元年12月から本格的な運用となりました。RPAを導入したことにより、「単純なコピー&ペーストを大量に行う作業の削減」や「手作業によるミスを防ぐ」ことができ、業務の効率化を図ることができました。

特に、データ入力に係る処理時間を従前に比べ60%減少することができました。令和元年12月、職員によるシステム入力では約28時間掛かるものを11時間程度に圧縮することができました。また、旅費計算システムへのデータ入力をRPAに任せることで正確性



ONE TEAMで働く集中化推進班

が向上した上に、約24時間を他業務に充てることのできたことは、大きな収穫となりました。

「ONE TEAM」  
RPA活用にあたっては、シナリオを描く、エクセルシートを作成するなど、集中化推進班全員がチームとなり、各自の役割を全うし成し得た成果と捉えています。



実物を動かしながら視覚的支援をし、イメージを深める

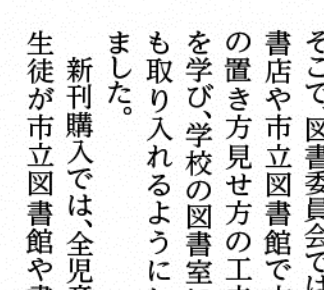
物語の世界を楽しむ工夫  
読み聞かせでは、子どもたちがその絵の中で

本に関する世界はどこまでも広く、深く、豊かなものです。しかし、子どもたちはいつも同じ本を手に取り、ページをパラとめくるだけで本を閉じてしまいます。その姿にもったいなさをいつも感じていました。「読むことに困難を抱える子どもたちにも、本の面白さをもっと深く感じてほしい」「本の持つ魅力に気が付き、自らいろいろな本を手取るようになってほしい」という願いから、本校の取り組みが始まりました。

生徒による読み聞かせ  
中学部生徒による読み聞かせは、生徒たちの心の豊かさや、そのらしさを表現できる良い機会となりました。

魅力ある図書室づくり  
いつも同じレイアウトの同じ本しかない図書室では、子どもたちは新しい本と出会えません。そこで、図書委員会では、書店や市立図書館で本の置き方見せ方の工夫を学び、学校の図書室にも取り入れるようにしました。

本から広がる世界  
本は、国語科の目標である「言葉による見方・考え方を働かせる」ために、大いに役立つ教材でした。言葉には、人を動かす力があります。本と出会うことで、素晴らしい言葉にたくさん出会ってほしいと願っています。その先にとこまでも広が



自分たちで選んだ新しい本。喜びがあふれます

機会となりました。始めは読むことに精一杯で、棒読みだった生徒たちも、読み込んでいくうちに物語を深く理解するようになり、読み方にも子よりの工夫が見られるようになったのです。「遠くから呼ぶように言ってみようかな」「悲しくて、残念な気持ちで声が小さくなる」など、生徒たちからもアイデアが出てくるようになり、せりふで見事に表現できるようになりました。生徒による読み聞かせの規模は段々に大きくなり、自信を持って取り組む姿は、聞く人の心を動かしました。

本から広がる世界  
本は、国語科の目標である「言葉による見方・考え方を働かせる」ために、大いに役立つ教材でした。言葉には、人を動かす力があります。本と出会うことで、素晴らしい言葉にたくさん出会ってほしいと願っています。その先にとこまでも広が



自分たちで選んだ新しい本。喜びがあふれます

本から広がる世界  
本は、国語科の目標である「言葉による見方・考え方を働かせる」ために、大いに役立つ教材でした。言葉には、人を動かす力があります。本と出会うことで、素晴らしい言葉にたくさん出会ってほしいと願っています。その先にとこまでも広が

本から広がる世界  
本は、国語科の目標である「言葉による見方・考え方を働かせる」ために、大いに役立つ教材でした。言葉には、人を動かす力があります。本と出会うことで、素晴らしい言葉にたくさん出会ってほしいと願っています。その先にとこまでも広が



自分たちで選んだ新しい本。喜びがあふれます

本から広がる世界  
本は、国語科の目標である「言葉による見方・考え方を働かせる」ために、大いに役立つ教材でした。言葉には、人を動かす力があります。本と出会うことで、素晴らしい言葉にたくさん出会ってほしいと願っています。その先にとこまでも広が

本から広がる世界  
本は、国語科の目標である「言葉による見方・考え方を働かせる」ために、大いに役立つ教材でした。言葉には、人を動かす力があります。本と出会うことで、素晴らしい言葉にたくさん出会ってほしいと願っています。その先にとこまでも広が

冬は厚いコートを脱ぐ季節になると、少し体型が気になりますか。消費カロリーの内、基礎代謝が60~70%を占めています。基礎代謝を高めるために、適度な運動と共に筋肉の材料となるタンパク質をしっかり摂りましょう。

**4月2日は「世界自閉症啓発デー」**  
**4月2日~8日は「発達障害啓発週間」です**

自閉症を含む発達障害のある方の多くは、脳の働き方の違いから、対人関係やコミュニケーション等に苦手さを持っています。一方で、興味のあることには豊富な知識を持ち、高い集中力を発揮する方もいます。同じ発達障害でも、その特徴は一人一人違います。この期間中はさまざまな形で啓発メッセージが発信されます。自閉症や発達障害のある方々と共に生きる社会のために、私たちができることを考えてみませんか?

静岡県 啓発デー 🔍 検索

【静岡県発達障害者支援センター】



# 教員の英語力と英語指導力向上を目指して ～英語教育推進リーダーによる中核教員研修会 アドバンスト・コース～

## これからの外国語教育と本研修の目的

令和2年度から小学校では、3・4年生で外国語活動、5・6年生で外国語科が実施され、児童は英語でコミュニケーションを図る機会が増えます。中学校においても、「授業は英語で行うことを基本とする」という方針が文部科学省から示されており、より言語活動を中心とした(コミュニケーションを重視した)授業になります。

「英語教育推進リーダーによる中核教員研修会 アドバンスト・コース」は、このような外国語教育の推進を目指し、教員自身が児童生徒とのコミュニケーションを図るための英語力を高めるとともに、英語指導力を向上することを目的として実施されました。

## 英語教育推進リーダーも学び直す研修会

本研修では、文部科学省が主催する中央研修を修了した英語教育推進リーダー(以下、推進リーダー)が指導者となり、各地域において中核となる小学校・中学校教員に対して研修を行いました。推進リーダーは、中央研修で自身が受けた内容をもとに、実際の授業を意識して英語でコミュニケーションを図りながら研修を行いました。

推進リーダーが受講者の思いを引き出しながら進める研修は、受講者が児童生徒の立場を実感する機会となりました。さらに、受講者だけでなく、指導者である推進リーダーにとっても、英語教育について学び直す機会となったことが大きな成果でした。

## 授業で児童生徒の思いや考え、表現を生かすための研修

研修においては、児童生徒の視点でのコミュニケーション活動の体験として、ペアやグループ活動が多く取り入れられました。受講者はマイクロ・ティーチング(模擬授業)を行い、児童生徒の実態に応じた話題や表現であったか、児童生徒の思いや考え、表現を生かした授業展開であったかについて協議しました。

受講者は推進リーダーによる研修に加え、外部検定試験にも挑戦しました。自身の目標を設定し、外部検定試験を受けたことも、自身の英語力向上につながっていきました。本研修に参加した教員が、学んだことを実践し、発信することで、各学校や地域の英語教育が一層推進されることを期待しています。

## 研修内容の一例

- ◇小学校教員対象の研修
  - ・ Small Talkとロールプレイ(話す活動)
  - ・ アルファベットの音と文字の関係(初期段階の読み書き)
- ◇中学校教員対象の研修
  - ・ 言語活動の展開、考えや意見の伝え合い(話す活動)
  - ・ 教科書や教材の効果的な活用



ペアでコミュニケーション活動を体験

【静東教育事務所】

研修後の受講者の感想

- ・ 英語を話すことにも英語で授業を行うことにも、自信を持つことができた。
- ・ 自分の英語力や、授業を英語で行う力をより高め、対話する楽しさを子どもに感じてほしいと思った。

## 学校と地域の連携・協働に係る教育活動 ～牧之原市～

### 郷土の偉人 田沼意次を学び PRLしよう!

牧之原市立相良小学校では、児童が、2019年に生誕300年を迎えた田沼意次について学び、その人物像や偉業を県内外にPRLしています。「まちづくり・地域創生」につながる、学校と地域との協働による郷土学習の実践を紹介します。

### 意次に関するアンケートの実施

相良小5年生\*が、JR静岡駅で田沼意次に関するアンケートを行いました。学習を進める中で、地域による意次の印象の違いを知るために実施したものです。また、牧之原市観光課の協力を得て、同市のちらしやパンフレット等を配布し、観光キャラバンとして活躍しました。



静岡駅でのアンケート実施

\*平成30年度5年生

### 牧之原茶の一煎パックをデザイン

田沼意次をパッケージにデザインした静岡牧之原茶の一煎パックを、相良小6年生が制作しました。この活動は、牧之原市茶業振興協議会が依頼したもので、児童は自分たちがデザインした一煎パックを修学旅行先で通行人等に配布しました。



児童がデザインした一煎パック

### 「子どもたちも地域の一員」次代を担う地域人材づくり

地域の協力により郷土学習は深まり充実します。牧之原市では、児童の主体的な学びに対し、地域の方々が積極的に支援しています。また、児童は、地域の依頼に応じた活動にも取り組み、地域課題に対し柔軟なアイデアで解決方法を見つけています。これは、意次の偉業を多くの人に知らせたいという「児童の思い」と地域資源を生かしたまちづくりをしたいという「地域の思い」が重なり共有できたからこそ可能になった活動です。このほか、意次ゆかりの場所を巡る「ぶらり旅」の企画・運営、イベント限定で相良城御城印の制作等を行い、地域の活性化に貢献しました。地域との協働活動により、子どもたちが地域の将来を担う一員として成長しています。

### 地域と学校はパートナー

幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支える「地域学校協働活動」の推進をお願いします。

【社会教育課】

## 一步踏み出せば、人はもっと豊かになれる (日中青年代表交流事業/交流報告)

県教育委員会では、友好関係にある中国浙江省の青年との相互交流事業を行っています

あなたは、中国に対してどのようなイメージを抱いていますか?そのイメージは、自らの経験に基づくものですか?現地を訪れなければ分からないこと…あなたも肌で感じてみたいと思いませんか?

### 概要



現地学校(浙江音楽学院)視察  
現地・日系企業等視察(アリババ等)  
ホームステイ  
杭州・上海市内視察等



※今年度は、県内の企業、教育、行政など各分野の青年(20～40代)26人が参加しました。

### 参加者の声

「環境が能力・イノベーションを生む」 静岡県農林技術研究所茶業研究センター 森田 秀平  
企業視察で「微医」というオンライン医療サービスを提供する会社を訪れました。創業者は親戚の子どもを病院に連れて行ったときに、長時間待たされて、不便な中国の医療問題に直面したそうです。だからこそ、患者の視点に立ったイノベーションが生まれたのだと思います。私たち日本人だって、今とは違う環境に身を置くことで成長できる、問題に直面することで新しい何か生まれる、そんな風に感じました。今の日本は少子高齢化とか社会問題をいろいろ抱えているけど、きっと大丈夫、日本人は強い。

### 「肌で感じた日中交流」

清和海運株式会社 片井 拓実

現地で感じたことは、「人柄の良さ」です。班活動の際には、一般の人が自動販売機の使い方を教えてくれました。ホームステイでも、不安がすぐなくなるほど優しく接していただきました。中国の政治など普段聞くことができない話を聞くことができました。中国人はマナーが悪いと取り上げられることが多いですが、それは一部であり、日本も同様です。現地を訪れなければ分からないことを多く肌で感じました。

HP <http://www.pref.shizuoka.jp/kyouiku/kk-080/nittyuu/top.html>

令和2年度の参加者募集については、4月以降にお知らせする予定です。詳しくはHPをご覧ください。

※本交流に参加した公立学校教員は、中堅教諭等資質向上研修の「社会体験研修」を実施したものとみなされます。

【社会教育課】

## 第43回水の週間記念作文コンクール 作品募集中!

～春休み・GWの学習にいかがですか?～

毎年8月1日の「水の日」、8月1日～7日の「水の週間」に向け、「水について考える」をテーマに作文を募集しています。社会科や理科、総合学習等の導入やまとめとして取り組んでみてはいかがでしょうか。



「健全な水循環」  
ロゴマーク

- テマ 水について考える(作文の題名は自由)
- 期間 令和2年3月1日(日)から令和2年5月11日(月)まで
- 対象 県内の小中学生(令和2年4月現在)
- 問い合わせ先 暮らし・環境部環境局水利用課  
※応募方法などの詳細は県HP(下記URL)をご確認ください。
- TEL 054(221)2256 FAX 054(221)3278 Eメール mizu\_riyou@pref.shizuoka.lg.jp
- HP <http://www.pref.shizuoka.jp/kankyuu/ka-060/sakubunn1.html>



第42回水の水の週間記念作文コンクール表彰式の様子



# 研修に参加したいけれど終日参加は難しいという教職員の方々へ 「聴講」として参加してみませんか!!



【総合教育センター】



聴講は、こんな先生に  
オススメです。

- 終日の研修への参加は難しいけれど  
学びの意欲がある先生  
→ぜひ聴講だけでもご参加ください。  
特に、管理職の先生方に活用  
いただいています。
- これまでに同じ研修に参加したこと  
がある先生  
→研修がリニューアルされていたら、  
新たな学びが得られます。
- 他校種の講義を聴いてみたい先生  
→聴講は校種を問わず参加可能です。

本センターは、研修の聴講を実施しています。  
聴講は、研修内容の講義のみに参加する仕組みです。  
受講者のご都合やそれぞれのニーズに合わせてご参加ください。

研修	聴講
(スケジュール例) 9時30分～正午 講義 13時00分～16時30分 演習	(スケジュール例) 9時30分～正午 講義 13時以降は、所属に戻り校務
(メリット) ・講義に加えて演習も行うことで、 講義内容に対する理解度が深まる。 ・演習も参加することで、校内研修を 行う際の参考になる。	(メリット) ・最新の知見を得ることができる。 ・講義後には所属に戻って業務を 行うことができる。 ・これまでに受講した研修に参加し、 更に学びを深めることができる。



令和2年度の講義一覧は、  
研修ガイドブックP.64をご覧ください。  
(令和2年3月末に各学校に配布予定)  
センターHPからもご確認いただけます。  
(HPは、令和2年4月に掲載予定)

静岡県総合教育センター  検索

## 私の学校紹介します

Eジャーナルでは、皆さまの学校についての取り組みを募集しています。  
ぜひEジャーナルを学校のPRにご活用ください! 問 教育政策課 TEL 054(221)3674

### 静岡市立清水高部東小学校 大学生との連携授業「民謡学習」

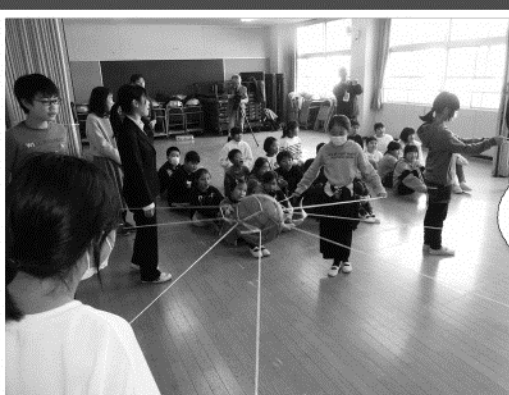
静岡市立清水高部東小学校では、静岡大学学生と連携した授業「民謡学習(音楽)」を行っています。

授業では教育学部の音楽教育を専攻する学生が5年生を対象に静岡市に伝わる民謡「駿河搦唄(するがじつきうた)」や富山県の民謡を披露し、演奏に使った楽器や唄の意味について紹介しました。

「駿河搦唄」は家の建築の際に、土台となる地面の強度を増すために縄でくりつけた石を地面にたたきつける作業中に歌われた唄で、実際に子どもたちは歌いながら石に見立てたボールにロープが付いた道具で体験しました。

また授業の中では和楽器の体験など、大学生に丁寧に教わりながら郷土に伝わる音楽を体験しました。

普段の音楽の授業とは違い、昔の生活作業の中から生まれた音楽を実際に体験することで、郷土愛を育み、地域や文化について改めて考える機会となっています。



駿河搦唄を歌いながら実際に体験



思ったより  
難しかったけど  
楽しかった



貴重な体験が  
できました

## 学び続ける教職員へ

## ～参加者募集中～

### 令和2年度 内閣府青年国際交流事業 ～日本代表として参加する青年を募集します～

内閣府では、国際社会や地域社会で活躍する次世代グローバルリーダーの育成を目指して、6つの国際交流事業を実施しています。

世界を肌で感じ、帰国後は自らの経験を仕事で生かしてみませんか。

#### □6つの事業

東南アジア青年の船	世界青年の船	国際社会青年育成
日本・中国親善交流	日本・韓国親善交流	地域課題対応人材育成
□募集期間	令和2年2月6日(木)～3月19日(木)必着	
□お申込み	参加申込書、作文、健康診断書、その他必要書類を郵送で提出してください。 →応募書類は、内閣府青年国際交流HPからダウンロード	
□対象	日本国籍を有する18～40歳の方(事業により異なる) *研修(事前、出発前、帰国後)に必ず全期間参加可能な方 *長期のプログラムのため、事前に所属先の了承を得られる方	
□費用	9万円～30万円程度(事業により異なる)	
□問い合わせ先	社会教育課 TEL 054(221)3305 各事業の詳細は内閣府青年国際交流HPをご覧ください。	

### 「ちょっといい春感じませんか」参加者募集!

ぽかぽか陽気の朝霧高原を家族で楽しむイベントです。1日目は、春の森探検、クラフト、プラネタリウム、たき火、ナイトハイクなど、家族ごとに活動を選べます。2日目は春のお好みハイキング。自然、歴史、文化に触れるコースを準備しています。どのコースからも富士山が見え、春の朝霧高原を満喫できます。

- 募集期間 令和2年4月8日(水)まで
- 実施日 令和2年4月25日(土)～26日(日)1泊2日
- 会場 静岡県立朝霧野外活動センター
- 対象 未成年の子どもを含む家族・小グループ
- 定員 本館棟宿泊コース、キャンプ場宿泊コース 合計150人  
(事前申込が必要、定員を超えた場合は抽選)
- 費用 高校生～大人 5,500円  
3歳以上～小中学生 3,900円
- 問い合わせ先 静岡県立朝霧野外活動センター  
TEL 0544(52)0321  
HP <http://asagiri.camping.or.jp/>



#### 広告

物づくりから物語づくりへ

## デザインの力で 静岡の発展に貢献する。

Design Works of Pres

- Album Web Site
- Logo Mark Photograph
- Card Illustration
- Pamphlet Character
- Booklet Package
- Catalog Publication
- Flyer Data Remake
- Poster Branding

CREATIVE & COMMUNICATION SYSTEMS

## PRES

【株式会社プレス】

〒422-8034 静岡市駿河区高松3044-18  
TEL.054-238-7322 FAX.054-238-7321  
<https://d-pres.com> info@d-pres.com